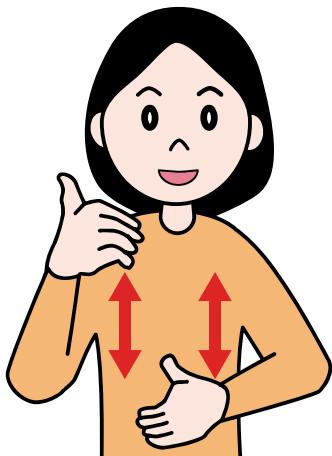
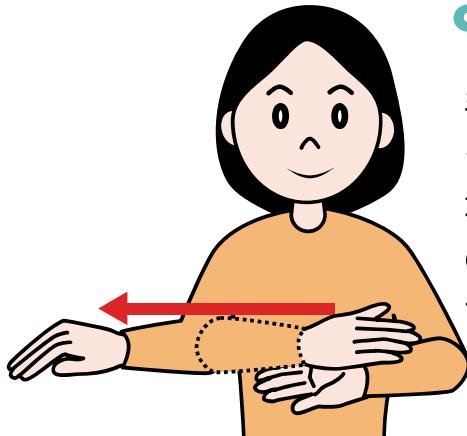


楽しい！



わん曲した両手を
折り曲げ、親指以
外の指の指先を胸
に向け、交互に上
下に動かす。

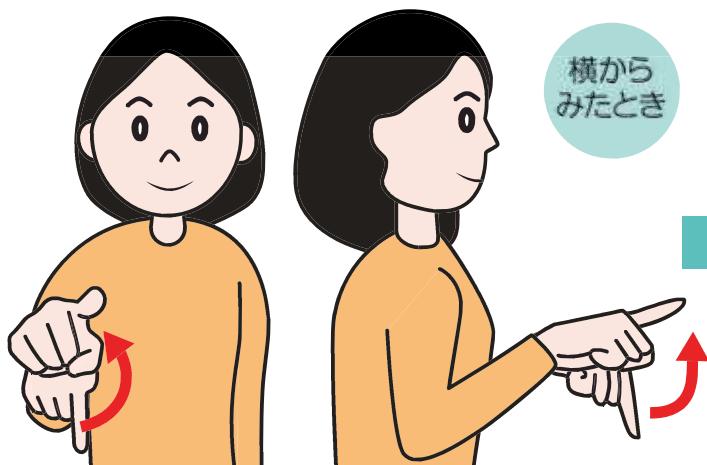


きれい！

手のひらを上向
きにした左手に
右の手のひらを
のせ、右に滑ら
せる。

…へ行きたい

場所



行く

右手の人差し指を伸ばして、
斜め上に上げる。

※人差し指を立てて前に進める
表現もあります。

～したい

右手の親指と人差し指を
伸ばしてのどにあて、指
を閉じながら下げる。

ひとくちメモ

「…したい」と希望を示すとき

場所・
物・事

動詞

行く・食べる
見る など



文末におき、
右手の親指と人差
し指を伸ばしての
どにあて、指を閉
じて下げる。

手話を覚える

食べたときの表現

しょっぱい

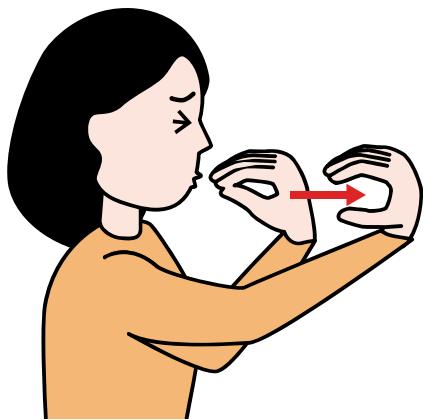
おいしい



右手の手のひらを右側のほおにつけて、
2~3回軽くたたく。



すっぱい



立てた右手の小指の
指先を唇に当てて、
右へ少し動かす。

まずい



右手の指の腹を
あごにつけてから前に出す

甘い



指を伸ばした右手
の手のひらを口元
において、回す。



辛い



右手を軽くわん曲
させて、口の前に
持っていき、回す。

熱い・
冷たい



右手の指先を下
に向け、サッと
上げる。

頭が痛い！

大丈夫！



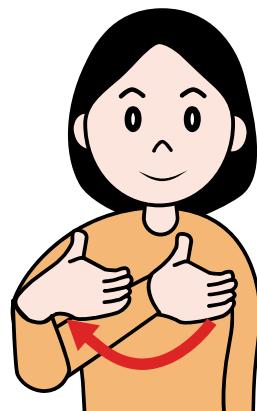
頭

右手の人差し指を伸ばして、こめかみにあてる。



痛い

痛い部位の近くで、右手の指を軽く曲げて、左右に小刻みに震わせる。



右手の親指以外の4本の指の指先を、左胸、右胸の順にあてる。
「できる」という意味もあります。

すみません…



横から
みたとき

親指と人差し指で眉間（みけん）をつまむようにし、指を伸ばして前に出す。



悲しい！

親指と人差し指の先をつけて目の下におき、涙を流すようにゆらして下げる。

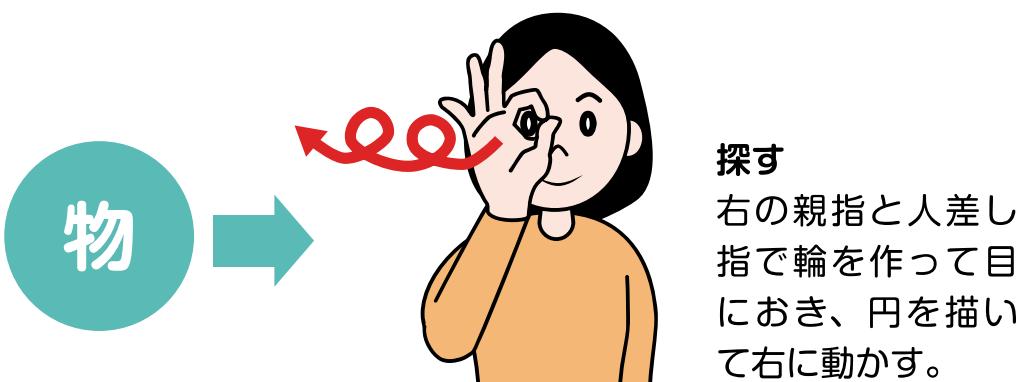


さまざまに

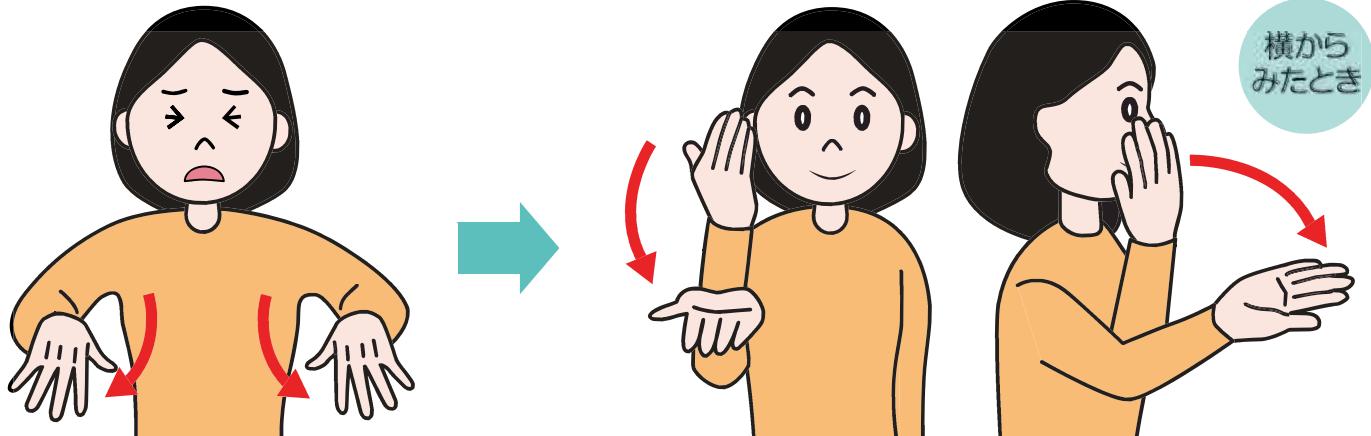
マリエさんは、マツコさんとフミエちゃんといっしょにデパートへショッピングにきました。マリエさんが雑貨売り場で何かを探しているようです。ここでは、さまざまな手話を紹介していきます。



…を探しています！



疲れた？



疲れる

両手の指を軽く開いて甲を前に向け、胸のあたりから両手の指先をだらりと下ろす。

少し①

右手人差し指の指先を親指でさしむ。指の爪をさしむ。

指ではじく

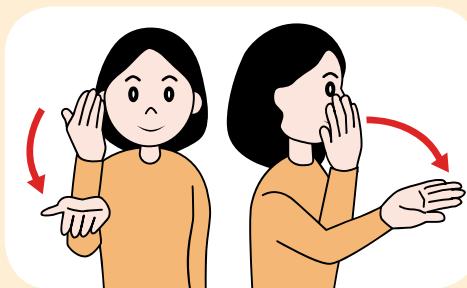
少し②

広げた右手の指先を前へ向け、指の間を狭める。

ひとくちメモ

「…ですか？」と尋ねるとき

楽しい・
おいしい
寒いなど



尋ねたいことのあとに、右手の手のひらを手前に向けて顔の横におき、ひじを軸に前に出す。

手話を覚える

ショッピングのあとはマリエ
さんを港に案内しました。

たくさん歩いたので、みんな
疲れた様子です。

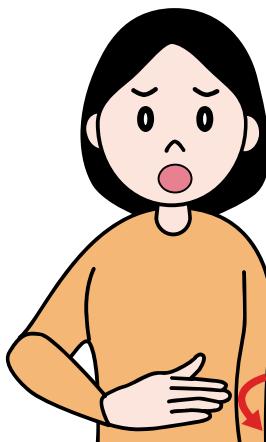


のどがかわいた！



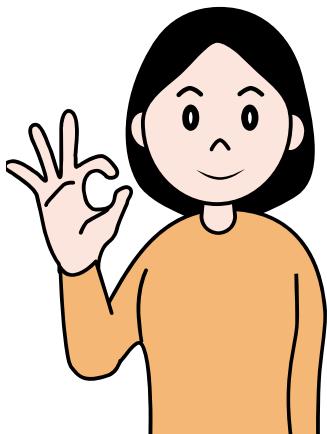
右手の指先を
のどにあて、
なでる。

おなかがすいた！



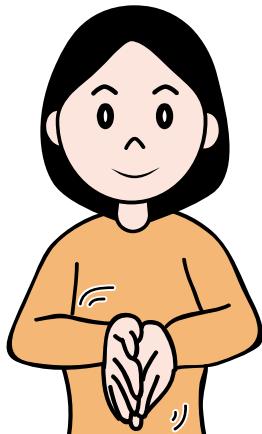
お腹に右手の
手のひらをあ
てて、へこま
すようにしな
がら下げる。

お手洗いはあっちです！



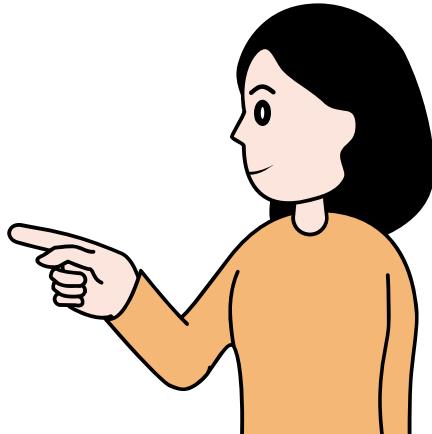
トイレ(WC)①

右手の親指と人差し指
を軽く曲げ、中指と薬
指、小指を立てる。



トイレ(WC)②

手を洗うしぐさをする。



あちら

人差し指で方向を指差す。

分かる！



右手の手のひら
で、胸のあたり
をトントンと2
回たたく。

分からぬ！

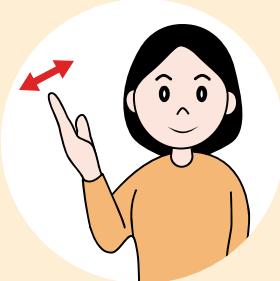


右手の指先で、
右肩のあたりを
2回上に払う。

ひとくちメモ

「…でない」と否定するとき

楽しい・おいしい・寒い
行く・買う・決める など



否定したいことのあとに、
右手の手のひらを横に向
けて、左右に軽く2~3回
動かす。
ほかにも首を振る、両手の
ひらをひっくり返すなどい
ろいろな表現があります。

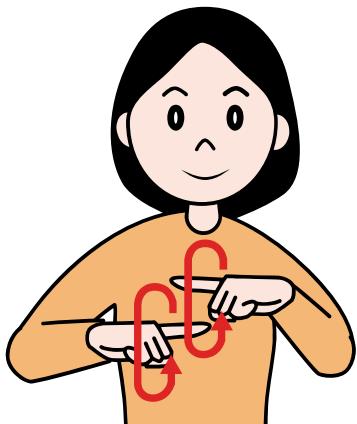
手話を覚える



聴覚障害の人たちみんなが、手話ができるとはかぎりません。また、音が分からぬひとも多いので、話すことができない人も多くいます。

手話のほかにも、相手が話している口の動きを読む“読話”や、お互いに字を書いて会話をする“筆談”などのコミュニケーションの方法があります。

手話ができます。



手話
両手の人差し指を横に伸ばして向かい合わせ、交互に前に回す。



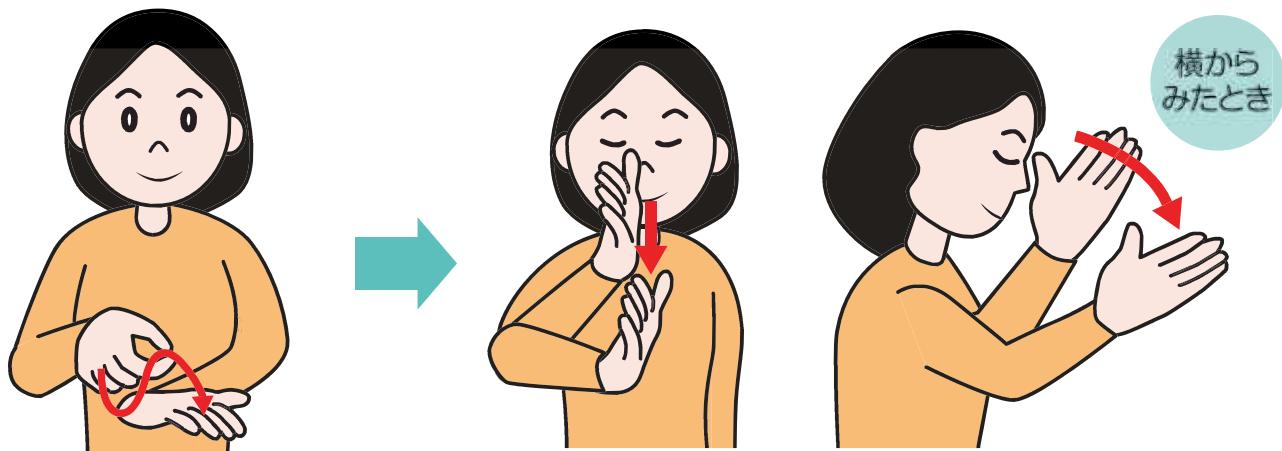
～ができる
右手の親指以外の4本の指の指先を、左胸、右胸の順にあてる。



できません。 ・難しいです。

右手の親指と人差し指で、右のほおを軽くつねるようにする。

筆談でお願いします。



筆談

左の手のひらの上で、右手でペンを持って何かを書くように動かす。

お願いします

右手を顔の前に垂直に立て、頭を軽く下げながら斜め下に出す。

※聴覚障害者が来た時のために、メモと筆記用具または筆談ボードなどを常に用意しておくようにしてください。

ひとくちメモ

昨日



右手の人差し指を立て、肩のところから後ろに持ってくる。

今日



両手の手のひらを下に向けて並べ、少し下げる。

明日



右手の人差し指を立てて、肩の位置から前に出す。

午前

右手の人差し指と中指をそろえてひたいにつけ、右に傾ける。



午後

右手の人差し指と中指をそろえてひたいにつけ、左に傾ける。



非常時

大変です！

カワサキさんのマンションの上の階が火事です。部屋の警報機が鳴っていますが、マリエさんは聞こえせん。

リョウくんが、ここから逃げるよう伝えました。

ここでは非常時の手話を紹介します。



災害など緊急な時、聴覚障害者は放送やテレビの音声が聴こえないため、何が起きているのか、どうすればいいのかわからず困ります。時には危険な場合もあります。困っている聴覚障害者を見かけたら、今起きていること、避難するところや注意することなどの情報を伝えるなど、サポートしてください。また、緊急の時によく使う手話を覚えておけば、ろう者をサポートするときに役に立つでしょう。



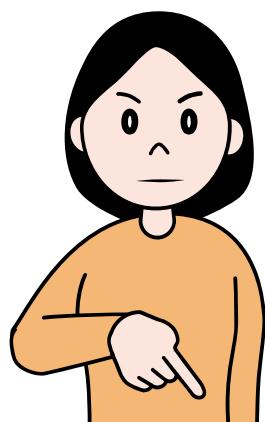
逃げて !!

両手でこぶしを作つて、同時に斜め上に上げる。



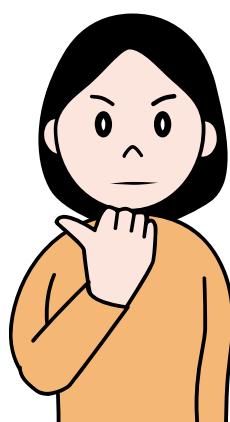
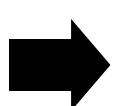
あぶない !!

両手の指を軽く曲げて、2回胸にあてる。右手だけをわん曲させて胸にあてもよい。



ここで待って !!

こちら（ここ）
自分のいるところを指さす。



待つ
右手の親指以外の4本の指を折つて、あごの下にあてる。

わたしは耳が聞こえません。



わたし
右手の人差し指で、胸を指さす。



聞こえません①
手のひらで耳をふさぐ動作をする。



聞こえません②
右手の指で耳をあおぐよう下へ2回下ろす。

指文字

指文字は日本語の「かな」にあたるもので、50音のほか、濁音や半濁音なども表現できます。基本的にきき手を使い、

あ



手の形が、相手から見て「a」の形。

か



アルファベットの指文字「K」から。

さ



アルファベットの指文字「S」から。

た



アルファベットの指文字「T」の変形。

い



アルファベットの指文字「I」から。

き



キツネを表しています。

し



数字の「7」から。

ち



チに似ていることから、数字の「千」。

う



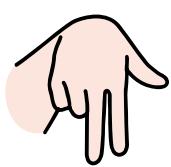
アルファベットの指文字「U」から。

く



数字の「9」から。

す



カタカナの「ス」の字形から。

つ



カタカナ「ツ」の形から。

え



アルファベットの指文字「e」から。

け



敬礼（けいれい）するときの手の形から。

せ



「いちばん背（せ）の高い指」から。

て



「手」を示しています。

お



アルファベットの指文字「O」から。

こ



カタカナの「コ」の一部から。

そ



「それ」を指す動作から。

と



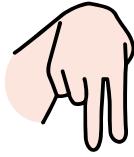
「～と…」の2つの物の意味。

肩（かた）の前あたりで形を作ります。
ここに紹介している指文字は、相手側から見た形です。

ふきだしは
横から見た
形です



な



アルファベットの
指文字「N」から。

は



アルファベットの
指文字「H」から。

ま



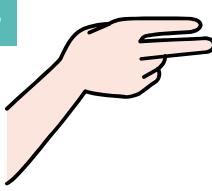
アルファベットの
指文字「M」から。

や



アルファベットの
指文字「Y」から。

に



数字の「2」から、
または「ニ」の字形から。

ひ



数字の「1」から
(ひい、ふう、みいの「ひ」)。

み



数字の「3」、または
(ミ)の字形から。

ゆ



温泉マーク「湯」から。

ぬ



「盗(ぬす)む」
を示すしぐさ
から。

ふ



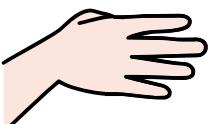
自分から見てカタカナ
の「フ」の形。

む



数字の「6」から。

よ



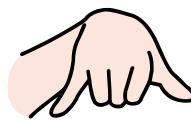
数字の「4」から。

ね



木の根の形から。

へ



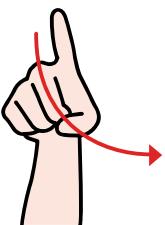
ひらがなの「へ」の形。

め



つぶれた丸
が「目」の形。

の



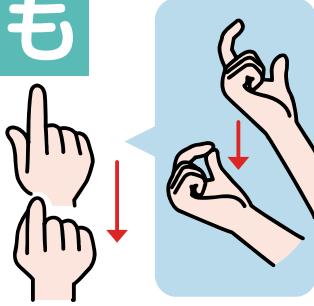
カタカナの「ノ」
の字形から。

ほ



船の帆(ほ)
を表してい
ます。

も



「～も同じ」
の手話から。

指文字

り



アルファベットの指文字「R」から。



わ



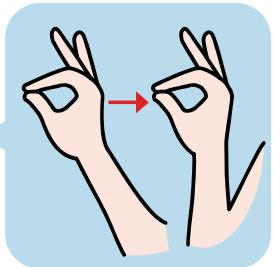
アルファベットの指文字「W」から。

つ

促音



「つ」の指文字を自分のほうへ引きます。



り



自分から見て「り」と書きます。



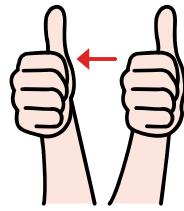
相手から見て「ル」の形。

を



「お」と同じ形を作り、自分のほうへ引きます。

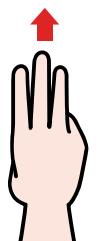
例:だ
濁音



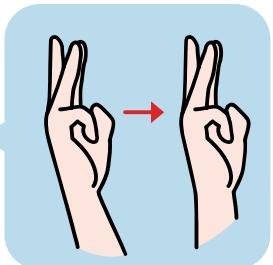
もとの指文字を横へ10cmくらい動かします。

や ゆ よ

拗音



もとの指文字を自分のほうへ引きます。

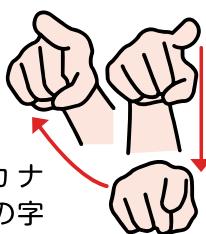


れ



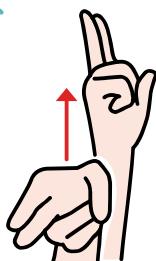
相手から見て「レ」の形。

ん

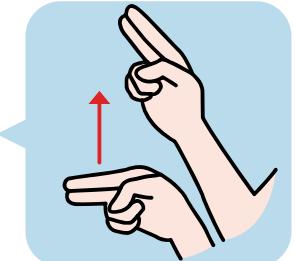


カタカナ「ン」の字形から。

例:ば
半濁音



もとの指文字を10cmくらい上げます。



ろ



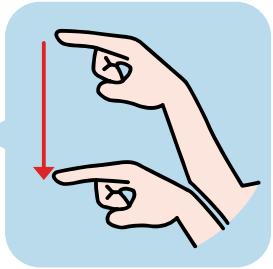
カタカナの「ロ」の一部。



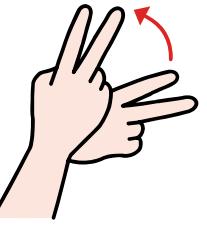
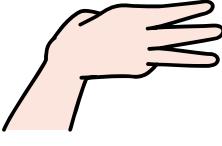
一
長音



人さし指で上から下へ線を引きます。



数字

0  親指と親指以外の4本で輪を作ります。	1  人さし指を上にのばします。	2  人さし指と中指を上にのばします。	3  人さし指、中指、薬指を上にのばします。
4  親指以外の4本を上にのばします。	5  こぶしを作り、親指のみ横にのばします。	6  手の甲（こう）を前に向けて、親指を上に、人さし指を横にのばします。	7  手の甲を前に向けて、親指を上に、人さし指と中指を横にのばします。
8  手の甲を前に向けて、親指を上に、小指以外の3指を横にのばします。	9  手の甲を前に向けて、親指を上に、それ以外の4指を横にのばします。	10  人さし指を立てて「1」を作り、のびた指を折り曲げる。	
百 例: 200  「2」を作り、のびた指をはね上げます。	千 例: 3000  3本の指を横に向けて、「千」を書くように動かします。	 「4」を作り、指先を前に向けて5本の指をつけます。	 「5」を作り、手のひらを少し開き、手前に引きながらにぎります。

聴覚障害者や手話、聴覚障害者へのサポート方法について
聞きたいことがある場合は、以下の聴覚障害者団体、聴覚障
害者情報提供施設へお問い合わせください。



[聴覚障害者団体]

神奈川県聴覚障害者連盟

〒251-0052 藤沢市藤沢 933-2
神奈川県聴覚障害者福祉センター 2階
TEL 0466-26-5467 FAX 0466-26-5454

[聴覚障害者情報提供施設]

神奈川県聴覚障害者福祉センター

〒251-8533 藤沢市藤沢 933-2
TEL 0466-27-1911 FAX 0466-27-1225

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
TEL 045-475-2057 FAX 045-475-2059

川崎市聴覚障害者情報文化センター

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町 14-16
TEL 044-798-8800 FAX 044-798-8805

本冊子の内容に沿った手話動画を作成し、
公開しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f537527>

神奈川県 手話

検索



[発行]

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話:045-210-4804 FAX:045-210-8874